

平成28年度第2回長崎県後期高齢者医療広域連合懇話会 開催結果概要

- 1 開催日時 平成28年12月2日（金）13時59分から16時8分まで
- 2 開催場所 長崎市栄町4番9号 長崎県市町村会館 4階 第2会議室
- 3 出席委員 9名
徳永委員、白川委員、知念委員、立石委員、高原委員、北野委員、井手陽一委員、山崎委員、井手猛委員
- 4 傍聴者 なし

5 会議の概要

(1) 報告事項について

エンディングノートの活用については、既に、三師会、行政、マスコミが多数後援者となって、日本尊厳死協会・ながさきが、年に1回、市民公開講座を開催しており今年度は平成28年10月1日に開催した。前回の懇話会では賛否両論の意見があったが、当広域連合としての活動は見合わせる。

(2) 議題等

ア 「一人当たり医療費、介護費(65歳以上)が全国一高いという報告に関連し」について

(3) 委員からの主な意見等

ア 「一人当たり医療費、介護費(65歳以上)が全国一高いという報告に関連し」について

- ① 1人当たり医療費に対する原爆被爆者手帳保持者の影響はどれくらいか
- ② 1人当たり介護費用が高くなる要因は何か
- ③ 特に九州の1人当たり医療費が高いのはどうしてだろうか
- ④ 1人当たり医療費について、被爆者が多い広島県の状況はどうか
- ⑤ 1人当たり医療費の問題は、後期高齢者だけの問題ではなく、もっと若い世代からの予防意識を高める必要がある。協会けんぽ、国保、健保をひとつにしたビックデータの活用を望む
- ⑥ 認知症予防には、友人関係、外とのコミュニケーション維持向上が大事
- ⑦ 生活習慣病全体を抑制できれば認知症の発症リスクも少し減少する
- ⑧ 特定健診受診率が低い要因は何か、また何か良い対策はないものか
- ⑨ 健康づくりは、県、国をあげてやらないといけない
- ⑩ 被用者保険の立場から、保健事業のなかでウォーキングを重要視している